

令和5年度

運営に関する計画

大阪市立加賀屋中学校

令和5年4月24日

目次	P.1
----	-----

1 総括シート

- 学校運営の中期目標……………P.2・3
- 中期目標の達成に向けた年度目標……P.3・4・5
- 本年度の自己評価結果の総括……………P.5～7

2 目標別シート

- 生活指導部……………P.7・8
- 健康教育部……………P.8・9
- 特別支援教育推進委員会……………P.9・10
- 特活・キャリア教育委員会……………P.10・11
- 道徳・人権委員会……………P.11・12
- 第1学年……………P.12・13
- 第2学年……………P.13・14
- 第3学年……………P.14
- 国語科……………P.15
- 社会科……………P.15・16
- 数学科……………P.16
- 理科……………P.17
- 音楽科……………P.17・18
- 美術科……………P.18・19
- 保健体育科……………P.19・20
- 技術・家庭科……………P.20
- 英語科……………P.20・21

評価基準

- A:目標を上回って達成した
- B:目標どおりに達成した
- C:取り組んだが目標を達成できなかった
- D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

大阪市立加賀屋中学校 令和4年度 学校運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 基本的生活習慣の確立と生活指導の充実を図る取組を実施し、遅刻者数の減少や学習規律の改善がみられるとともに、自らあいさつする生徒が増えている。そのため、落ち着いた学校環境の中で授業や学校生活を送れるようになってきている。しかし、一部生徒の遅刻の固定化や人間関係の不安による不登校生徒の増加が見られる点が課題として取り上げられる。
- 学習面において、教員の教材作成の工夫、授業力向上を図る研究授業の実施やICT機器を活用した授業改善を通して生徒が授業に興味・関心を持ち、意欲的に取り組むことができ、主体的・対話的に学ぶことができるよう取り組んできた。学力調査の結果から経年で比較すると各教科で前年度を上回る結果となっている教科が多いが、平均正答率で全国や大阪府・市の平均を下回る結果となっている面が見られる、そのため、基礎・基本の徹底を図ることが課題としてあげられる。
- 健康、体力の保持増進を図るため、保健体育の授業の導入で俊敏性や柔軟性を高める運動に取り組んできた。昨年度は全国体力・運動能力、運動習慣等調査において体力合計点が男女とも、全国平均を下回ったが、体育大会をはじめ球技大会やマラソン大会を実施し、様々なスポーツに触れる機会を増やし運動が苦手な生徒も興味・関心を持って取り組めるように工夫してきた。しかし、全国体力・運動能力、運動習慣等調査において「運動が好き」「運動やスポーツは大切ですか」の項目において、全国平均を大きく下回っており運動に対する意識の低さが課題としてあげられる。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和7年度末の保護者アンケートにおける学校の教育目標「(人権教育を基盤とし、生徒一人ひとりを大切にする教育実践を通して、互いに認め合い、自己実現のための学ぶ力を育む教育を推進する)」について「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と肯定的に答える保護者の割合を80%以上にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒割合を93%以上にする。
- 令和7年度の校内調査の「学校の規則を守っていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を96%以上にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「将来の夢や希望を持っていますか」の項目について肯定的に答える生徒の割合を71%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査の「友達一人一人のちがいを大切にしている」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の平均正答率3割以下の生徒を、令和3年度より5ポイント減少させる。

- 令和7年度の大阪市英語力調査の中学校卒業段階でのCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合を45%以上にする。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える生徒の割合を55%以上にする。
- 規則正しい生活を身に付けている生徒の割合(全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする生徒の割合)を令和7年度調査において、80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える生徒の割合を、100%にする。
- 令和7年度の校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を76.5%以上にする。
- 令和7年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、令和3年度より3ポイント増加させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標(全市共通目標を含む)

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標

- 年度末の校内調査における「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒割合を93%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- 令和5年度末の保護者アンケートにおける学校の教育目標「(人権教育を基盤とし、生徒一人ひとりを大切にする教育実践を通して、互いに認め合い、自己実現のための学ぶ力を育む教育を推進する)」について「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と肯定的に答える保護者の割合を75%以上にする。
- 令和5年度の全国学力・学習状況調査の「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒割合を85%以上にする。
- 令和5年度の校内調査の「学校の規則を守っていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。
- 令和5年度の全国学力・学習状況調査の「将来の夢や希望を持っていますか」の項目について肯定的に答える生徒の割合を、前年度より増加させる。
- 令和5年度末の校内調査の「友達一人一人のちがいを大切にしている」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、前年度より増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標

- 年度末の校内調査における「学級の生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を47%以上にする。
- 中学校チャレンジテストにおける国語及び数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 大阪市英語力調査の中学校卒業段階でのCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合を40%以上にする。
- 年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的な「好き」と答える生徒の割合を50%以上にする。

学校園の年度目標

- 令和5年度の全国学力・学習状況調査の平均正答率3割以下の生徒を、令和3年度より1ポイント減少させる。
- 令和5年度の大阪市英語力調査の中学校卒業段階でのCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合を40%以上にする。
- 令和5年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える生徒の割合を、前年度以上にする。
- 規則正しい生活を身に付けている生徒の割合(全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする生徒の割合)を令和5年度調査において、70%以上にする。について

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標

- 令和5年度の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える生徒の割合を、前年度より増加させる。
- 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。

学校園の年度目標

- 令和5年度の校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、前年度より増加させる。
- 令和5年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、前年度より1ポイント増加させる。

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標

○

学校園の年度目標

○

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標

○

学校園の年度目標

○

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標

○

学校園の年度目標

○

(様式 2)

大阪市立加賀屋中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標</p> <p>○年度末の校内調査における「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒割合を93%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○令和5年度末の保護者アンケートにおける学校の教育目標「(人権教育を基盤とし、生徒一人ひとりを大切にする教育実践を通して、互いに認め合い、自己実現のための学ぶ力を育む教育を推進する)」について「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と肯定的に答える保護者の割合を75%以上にする。</p> <p>○令和5年度の全国学力・学習状況調査の「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒割合を93%以上にする。</p> <p>○令和5年度の校内調査の「学校の規則を守っていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。</p> <p>○令和5年度の全国学力・学習状況調査の「将来の夢や希望を持っていますか」の項目について肯定的に答える生徒の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>○令和5年度末の校内調査の「友達一人一人のちがいを大切にしている」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標</p> <p>○年度末の校内調査における「学級の生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を40%以上にする。</p> <p>○中学校チャレンジテストにおける国語及び数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。</p> <p>○大阪市英語力調査の中学校卒業段階でのCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する生徒</p>	

<p>の割合を40%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的な「好き」と答える生徒の割合を50%以上にする。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○令和5年度の全国学力・学習状況調査の平均正答率3割以下の生徒を、令和3年度より1ポイント減少させる。</p> <p>○令和5年度の大阪市英語力調査の中学校卒業段階でのCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合を40%以上にする。</p> <p>○令和5年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える生徒の割合を、前年度以上にする。</p> <p>○規則正しい生活を身に付けている生徒の割合(全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする生徒の割合)を令和5年度調査において、70%以上にする。</p> <p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標</p> <p>○令和5年度の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える生徒の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>○年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○令和5年度の校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>○令和5年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、前年度より1ポイント増加させる。</p>	
---	--

【生活指導部】

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○年間を通しての「予鈴後登校」を減少させ、時間を守る意識を養う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通しての「予鈴後登校」を前年度より減少させる。 ・学期に一度、生活指導強化集会を通して規範意識を持たせるように働きかける。 ・生徒会や委員会活動を活性化し、生徒自ら啓発し合えるような働きかけをする。 ・令和5年度の生徒アンケートにおける「時間やルールを守って学校生活を送っている」の項目につ 	

<p>いて「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と答える生徒の割合を 80%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○集会やあいさつ運動を通して、自ら進んで元気よくあいさつをする生徒を育てる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の生徒アンケートにおける「自ら進んであいさつ、返事をしている」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と答える生徒の割合を 80%以上にする。 ・生徒会や委員会活動を活性化し、生徒自ら啓発し合えるような働きかけをする。 	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>○班活動や学級活動、学年行事や学校行事等を通して仲間づくりを行い、安全で安心できる学校、教育環境の実現を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の生徒アンケートにおける「いじめを許さない」の項目について「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と答える生徒の割合を 95%以上にする。 ・令和5年度の生徒アンケートにおける「丁寧な言葉遣いと素直な態度で人の話を聞いている」の項目について「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と答える生徒の割合を 80%以上にする。 ・令和5年度の生徒アンケートにおける「学年・学級で協力することができる」の項目について「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と答える生徒の割合を 80%以上にする。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>【取組の進捗状況】</p> <p>①</p>	
<p>次年度への改善点</p>	
<p>○</p>	

【健康教育部】

<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	<p>進捗状況</p>
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○緊急体制における教職員の連携を強化し、安全に留意した生活態度を育成する。</p> <hr/> <p>指標</p>	

<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー対応研修会・救命講習会を実施し、事後アンケートで肯定的な回答を 80%以上にする。 ・職員会議等で、健康上の課題を有する生徒に関する報告を2回以上行い、教職員間の共有認識を図り、安全に留意した生活態度を育成する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>○生徒保健委員会活動において、感染症の予防に留意した健康啓発活動を行い、健康推進リーダーとしての自己有用感を育成する。</p>	
<p>指標</p> <p>・活動後にアンケートを実施し、自己有用感を問う項目において、肯定的な回答の割合を 80%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>○生徒美化委員会活動において、感染症の予防に留意した美化活動を行い、美化推進リーダーとしての自己有用感を育成する。</p>	
<p>指標</p> <p>・活動後にアンケートを実施し、自己有用感を問う項目において、肯定的な回答の割合を 80%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【取組の進捗状況】</p> <p>①</p>	
次年度への改善点	
○	

【特別支援教育推進委員会】

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○生徒の実態を把握し、安全な学校生活を送れるように教職員の共通理解を深め、特別支援教育コーディネーターを中心とした校内体制を充実させる。</p>	
<p>指標</p> <p>・研修会の実施と、学期に1回の推進委員会及び各月の学年会で情報共有を密に行う。</p>	

<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>○校内の行事や学級活動に積極的に参加し、共に学び・共に育ち合う交流や共同学習を推進し、好ましい人間関係を構築する。</p>	
<p>指標</p> <p>・学校全体の行事や学年ごとの行事に参加するとともに、共同学習を保障する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <p>○家庭及び関係諸機関との連携を図り、障がいの内容・程度をより理解し、支援を充実させる。</p>	
<p>指標</p> <p>・日々の家庭との連絡帳の実施と、関係諸機関との情報交換の場を年1回以上設ける。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【取組の進捗状況】</p> <p>①</p>	
次年度への改善点	
○	

【特別活動・キャリア教育委員会】

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <p>○校外学習や外部講師を招いたキャリア教育を各学年で実施する。</p>	
<p>指標</p> <p>・出前授業などを通してキャリア教育を進める。</p> <p>・出前授業などのキャリア教育を全学年で実施する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○特活・キャリア教育の年間指導計画に沿って、学年と連携を密にし、実施していく。</p>	
<p>指標</p> <p>・体験学習後のアンケート調査で、「よかった」と答える生徒を各学年80%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○3年後の進路を見据えた基礎学力の定着を図るための取り組みを実施していく。</p>	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝学習を各学年で年間を通して実施し、定期テストにおける 5 教科平均 3 割未満の生徒の割合を 20%未満にする。 ・長期休業中に学力向上のための補充授業を各学年で実施する。 	
<p>取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○学習形態も含めた授業改善により、基礎・基本の定着に取り組み、学力補充を充実させ、自ら学ぶ姿勢を育む。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の中学生チャレンジテストにおける校内平均点を同一の母集団で比較し、前年度より向上させる。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【取組の進捗状況】</p> <p>①</p>	
<p>次年度への改善点</p> <p>○</p>	

【道徳・人権委員会】

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>○支援を要する子どもの理解など、教職員の人権意識を高めるための研修会を実施する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員を対象とする人権教育研修会を、年に 1 回実施する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>○人権教育の年間指導計画に沿って、学年との連携を密にし、実施する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に 1 回、道徳人権委員会で指導案の精選を行いながら研修を進める。 	
<p>取組内容③【基本的な方向 2 豊かな心の育成】</p> <p>○道徳教育の年間指導計画に沿って、生徒の実情に沿った教材を精選し、実践する。</p>	

指標 ・道徳の授業の振り返りから月に1回、指導案の精選を行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【取組の進捗状況】 ①	
次年度への改善点	
○	

【第1学年】

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】 ○集団における規律を学ばせ、実践できる子どもを育てる。	
指標 ・学期ごとに生徒アンケートを実施し、「学校のルールを守った」という項目において肯定的に答える生徒の割合を 80％以上にする。	
取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 ○自他ともに認め、尊重しあえる集団作りを目指す。	
指標 ・学期ごとに生徒アンケートを実施し、「学年・学級の友達と協力した」という項目において肯定的に答える生徒の割合を 80％以上にする。	
取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○教科と連携し、基礎基本を定着させる	
指標 ・基礎学力を定着させるため、朝学習、定期テスト前や長期休業中の補充学習を実施する。 ・定期テストにおける5教科合計の得点率が3割未満の生徒の割合を20％以下にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【取組の進捗状況】	
①	

次年度への改善点
○

【第 2 学年】

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○集団における規律を学ばせ、実践できる子どもを育てる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・学期ごとに生徒アンケートを実施し、「学校のルールを守った」という項目に肯定的に答える生徒の割合を 85%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>○自他ともに認め、尊重しあえる集団作りを目指す。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・学期ごとに生徒アンケートを実施し、「学年・学級の友達と協力した」という項目に肯定的に答える生徒の割合を 85%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>○教科と連携し、基礎基本の定着をめざす。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・基礎学力の定着を図るため、集会を行わない日の朝学活の時間帯に朝学習を実施する。</p> <p>・定期テストにおける5教科の達成率3割未満の生徒の割合を 30%未満にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【取組の進捗状況】</p> <p>①</p>	
次年度への改善点	
○	

--

【第3学年】

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗 状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 ○集団における規律を学ばせ、実践できる子どもを育てる。		
指標 ・学期ごとに生徒アンケートを実施し、「学校のルールを守った」という項目に肯定的に答える生徒の割合を80%以上にする。		
取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 ○自他ともに認め、尊重しあえる集団づくりを目指す。		
指標 ・学期ごとに生徒アンケートを実施し、「学年・学級の友達と協力した」という項目に肯定的に答える生徒の割合を80%以上にする。		
取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○教科と連携し、基礎基本を定着させる。		
指標 ・基礎学力の定着を図るため、集会を行わない日の朝学活の時間帯に朝学習を実施する。 ・定期テストにおける5教科の達成率3割未満の生徒の割合を3分の1以下にする。 ・定期テスト前や長期休業中等に補充学習を行う。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
【取組の進捗状況】 ①		
次年度への改善点		
○		

【国語科】

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○授業内容を精選し、基礎学力の定着と国語を適切に表現する力を育成する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・授業で出されたプリントや問題集などの課題提出率を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○各単元でのねらいを明示し、アクティブラーニングを行い、国語への興味・関心を高める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・校内授業アンケートを各学期に行い、「授業がわかる」と肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【取組の進捗状況】</p> <p>①</p>	
次年度への改善点	
○	

【社会科】

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○基礎学力の定着を図るため、復習プリントを配布する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・復習プリントの未提出率を25%以下にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○定期テスト前の課題プリントを配布する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・定期テストにおける正答率6割以上の生徒の割合を1/3以上にする。</p>	

・テスト前に課題プリントを2枚以上配布する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【取組の進捗状況】	
①	
次年度への改善点	
○	

【数学科】

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○授業形態を工夫し、基礎・基本の定着を図る。	
指標 ・定期テストにおける正答率 3 割未満の生徒の割合を 25%以下にする。 ・生徒アンケートにおける「授業がわかる」と肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○宿題や確認プリント(家庭用)を利用し、家庭学習の定着をはかる。	
指標 ・宿題や確認プリントを週 1 回以上行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【取組の進捗状況】	
①	
次年度への改善点	
○	

【理科】

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○理科教育の充実のため、学習内容について、身近なことを通して興味・関心を高める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・令和5年度の校内調査において、「授業がわかる」「授業が楽しい」の項目において、「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する生徒の割合を7割以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○全学年で週に1回、復習問題を行う時間を設け、練習問題等により基礎・基本の定着を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・定期テストにおける正答率3割未満の生徒の割合を20%以下にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○学習内容を工夫し、実験・観察を通して興味・関心を高める。</p> <hr/> <p>・令和5年度の生徒調査における「実験・観察に積極的に取り組むことができた」の項目において、「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する生徒の割合を8割以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【取組の進捗状況】</p> <p>①</p>	
次年度への改善点	
○	

【音楽科】

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 生涯学習の支援】</p> <p>○歌うこと、演奏することの喜びや楽しみを実感させ、音楽への興味関心を高める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・令和5年度の授業アンケートにおける「興味・関心・意欲」の項目において、</p>	

「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する生徒の割合を75%以上にする。	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○楽譜の読み方や楽器の構造、作曲者の歴史など音楽の基礎的な知識を定着させるとともに、音楽を感受し表現する力を養う。</p> <p>○歌うこと、楽器を演奏することの基本的な能力を身に着ける。</p>	
<p>指標</p> <p>・鑑賞の授業では感想文を提出させ、意見の共有をはかる。</p> <p>・小テストを実施し音楽の基礎的な知識の定着をはかる。</p> <p>・実技テストを実施し、歌うこと、楽器を演奏することの基本的な能力が身についているか確認する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【取組の進捗状況】</p> <p>①</p>	
次年度への改善点	
○	

【美術科】

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <p>○美術への興味・関心を高め、創造活動や鑑賞の面白さ・楽しさを実感できるよう授業を工夫する。</p>	
<p>指標</p> <p>○美術への興味・関心を高め、創造活動や鑑賞の面白さ・楽しさを実感できるよう授業を工夫する。</p> <p>○令和5年度の授業アンケートにおける「作品制作が楽しい」の項目において、「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する生徒の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○作品制作や鑑賞を通じて、豊かな情操を育む。課題や作品に対して粘り強く取り組む姿勢を養う。</p>	
<p>指標</p> <p>・令和5年度の授業アンケートにおける「作品をより良いものにしようとしている」の項目において、</p>	

「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する生徒の割合を85%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【取組の進捗状況】	
①	
次年度への改善点	
○	

【保健体育科】

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向8 生涯学習の支援】 ○視覚的教材を利用し、保健体育への興味・関心を高める。	
指標 ・ICTを活用した授業を各学年の保健・体育の授業で活用し、校内調査における授業の内容に興味・関心・意欲をもつようになったと回答する生徒の割合を 85%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】 ○T・Tを活用し、習熟度別に課題を設定することにより体力、技能を向上させる。 ○ダンスの授業で、プロの外部講師を招き、生徒の興味関心を引きながら本格的なダンスの指導を行う。	
指標 ・生徒アンケートにおいて、ダンスの授業が「楽しかった」「仲間と協力して取り組めた」と肯定的な回答をする生徒の割合を 85%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【取組の進捗状況】 ①	
次年度への改善点	

○

【技術・家庭科】

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <p>○ものづくりに対する関心・意欲を高め、ものを作る楽しさを実感できる実習を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・令和5年度の授業アンケートにおける「興味・関心・意欲」の項目において、「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する生徒の割合を85%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○規律ある学習態度を身に着け、安全に教材・教具を扱い、怪我なく実習を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・令和5年度の授業アンケートにおける「個の状況に応じた支援」「望ましい学習集団の育成」の項目において、「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する生徒の割合を85%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【取組の進捗状況】</p> <p>①</p>	
次年度への改善点	
○	

【英語科】

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○家庭学習を充実させ、基礎・基本の定着を図る。</p> <hr/> <p>指標</p>	

・家庭学習課題の達成率 75%以上にする。	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○授業形態を工夫し、基礎・基本の定着を図る。また、定期的に小テストを行い、学習の定着を図る。</p>	
<p>指標</p> <p>・定期テストにおける平均正答 2 割未満の生徒の割合を、いずれの学年も 15%以下にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <p>○C-NET を活用し、英語で積極的にコミュニケーションを取る態度を養う。</p>	
<p>指標</p> <p>・パフォーマンステスト(リーディング、スピーキングなど)を行い、達成率を6割以上となるようにする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【取組の進捗状況】</p> <p>①</p>	
次年度への改善点	
○	